

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

にじいろ保育園サクセス和田町

横浜市保土ヶ谷区和田 1-15-3

運営主体：株式会社 サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～18 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	19～26 ページ
利用者本人調査分析	27～28 ページ
事業者コメント	29 ページ

作成日：2010年5月17日

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園サクセス和田町（保育所）		
事業所への報告日	2010年4月14日	評価に要した期間	7ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2009年9月上旬～2010年1月11日</p>	<p>職員会議で趣旨を説明し、期限を決め、すべての職員が個々に記入した。</p> <p>各個人が記入したものを持ち寄り、一項目ずつ意見を出し合いながら、全体での話し合いを毎日30分～1時間ほど行い、20日間位かけて集計したりして、検討した。</p> <p>その結果をもとに園長が最終確認してまとめ、本部職員が確認をした。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2009年12月7日～12月21日</p>	<p>全園児の保護者（28家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 2010年2月24日 第2日 2月25日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長、本部職員に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士5名、栄養士1名、非常勤職員1名に、個別に面接調査。 その後、園長、本部職員に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 2010年2月24日 第2日 2月25日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

にじいる保育園サクセス和田町は、相鉄線「和田町」駅から徒歩1分の駅前に位置し、施設は7階建の居住用マンションの1階にあります。施設前に園庭があり、付近には帷子川沿いの遊歩道や峰岡町三丁目公園、保土ヶ谷公園、和田駅前商店街など自然と近隣地域の人との触れ合いができる地域です。

当園は、2007年(平成19年)4月1日に開園した保育園です。定員は0～5歳児で30人、開園時間は、平日は午前7時～午後8時、土曜日は午前7時～午後6時です(延長保育時間含む)。

運営法人は、株式会社サクセスアカデミーです。法人では、保育園や学童クラブの運営のほか、病院や企業内・学内の保育施設受託運営・在宅保育(ベビーシッターサービス)などを、神奈川県・東京都・千葉県など関東首都圏を中心に多数展開しています。

保育理念は「みんなが輝く 社会のために」と前書きし、「陽だまりのような温かい保育園」・「地域とともに育つ保育園」・「子どもとともに輝いていける保育園」としています。理念に基づき、保育目標は、みとめ愛(信頼)・みつめ愛(安定)・ひびき愛(共感)をキャッチフレーズとして、自然を愛し、心身ともに健康な子ども 意欲と根気のある子ども 「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども 自己を表現できる子ども 想像し、考えて行動できる子ども 基本的な習慣や態度を身につけた子ども の6つを保育目標として掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは園外で思いっきり体を動かしながら、思いやりの気持ちを育んでいます

自然にあふれた大きな公園が周囲に多数ある立地条件を活かし、散歩は天候が良ければ0歳から5歳まで、毎日行きます。クラスの組み合わせを考えながら、異年齢が一緒に出かけています。

散歩先の公園では、鬼ごっこ・アスレチック・ターザンごっこなど思いっきり体を動かす遊びが人気で、どの年齢の子どもたちも目を輝かせながら楽しく遊んでいます。保育士も一緒に参加し、子ども一人ひとりの自由な発想や意思を尊重しながら、できる限り子どもたちが遊びきった満足感を得られるようにしています。保育目標の「自然を愛し、心身ともに健康な子ども」「意欲と根気のある子ども」が実践されています。

また、散歩に行く途中では、年上の子どもが年下の子どもと手を繋いで歩き、歩くのが遅い年下の子どもを気遣ったり、靴が脱げた子どもを手伝ったりしながら、思いやりや心配りの気持ちを自然と育んでいる姿が見られました。

一方、0・1歳児の中でも、月齢の高い子どもが自分より幼い子どもに対し、いかにも”可愛い”というしぐさで接している光景が随所に見られます。全年齢において、保育目標のひとつである「仲間と関わり、人を思いやれる子ども」が無理なく実践されています。

2、小規模園の特性を活かし、園長を中心に家庭的な雰囲気づくりに努めています

にじいる保育園サクセス和田町は定員30名、マンションのワンフロアで、室内のどこからでも全体が見通せる小規模園です。園長を中心に職員全員が子どもたちを支援していく家庭的な雰囲気づくりに努めています。

保育士全員がすべての子どもたちと積極的に関わり、園長も必要に応じて保育に入り、保育士にも細やかにアドバイスをしています。朝の時間と夕方の時間で行う異年齢児合同の自由遊びでは、年長児が年下の子どもの面倒を見る姿や、手をつなぐときに子どもたちの嬉しそうな表情が見られ、家庭的で微笑ましい雰囲気が見受けられます。さらに保育士は子どもたちに積極的に声かけをしたり、一緒に活動するなど、遊びや生活の場面で深く関わりあいながら、一人ひとりの子どもの欲求を迅速かつ十分に満

たすよう努めています。園全体が小さな家族のように毎日を過ごしています。

また、全職員が参加する月 2 回の職員会議では、「連絡事項」「期間ごとの保育の振り返り」「全員で検討したケース」「改善点」などを確認します。その他にも緊急性が高い事案や、日々の保育で気づいた点などを午睡の時間を利用して積極的に話し合い、臨機応変に対応しています。保護者との関係においても、伝達事項確認表（朝夕伝達表）を利用して、園から保護者への連絡事項を共有するなど、職員間連携を徹底しています。

3、地域とのつながりを大切にし、子育て支援を展開しています

近くの町内会館で毎月行われている、地域の主任児童委員が主催の子育て支援事業「親子ふれあい広場『陽だまり』」に、園として協力しています。『陽だまり』では、保育士が講師となって地域の親子に手遊びを教えたり、園児も参加し地域の子どもたちと一緒に交流したり、就園前の子どものいる家庭を対象に子育て・福祉に関する相談活動も展開しています。

また、自治会を通じて、商店街の掲示板に、園で開催する「運動会」や「夕涼み会」等のイベントチラシを掲示してもらえる関係ができています。

その他にも、育児相談は毎週木曜日に定例で行っています。散歩先の公園でも、地域の親子と一緒に遊んだり、園の行事チラシを配布したりして、地域の育児相談ニーズの掘り起こしや、地域支援の取り組みを大切にしています。

また、近隣保育園との交流も盛んです。近くにある西谷体育館でのリズム遊びや、小学校への訪問などを合同で行い、園長や保育士間だけでなく、子どもたちの交流も頻繁に行っています。

園では、近隣の保育園や地域とのつながりを大切にし、積極的なアプローチを常に心がけています。

4、法人本部との連携を密にしながら、より良い保育現場の実現を目指しています

法人本部では、すべての系列園において保育理念や目標を共有するために、月 1 回定期的に園長会議・看護師会議・栄養士会議を開催しています。また、法人本部職員・園長代表・看護師代表・栄養士代表が参加する四者会議では、必要な情報の共有や意見交換も行っています。そのため、系列園全体で蓄積したノウハウ・スキルや課題点・改善事例等が、それぞれの園の保育現場に活かされています。さらに、本部職員が担当園に定期的に訪問し、法人での各種会議に上がらない様な小さな課題点や問題点までもが直接タイムリーに把握でき、必要な支援が迅速に行われています。

また、新任研修・現任研修・スキルアップ研修は、法人主催で定期的に行われ、職員一人ひとりのスキルアップに活かされています。研修を受けた職員は、身につけた知識やスキルを各園で実践していきます。本部と園とで連携を密にとりながら、より良い保育現場の実現を目指しています。

改善や工夫が望まれる点

1、保育場面の切り替えと保育室内の環境構成にさらなる工夫を

当園は、ワンフロアの室内を低い棚やロッカー等で仕切って使用しているため、全体が見通せるオープンな造りとなっています。園内では、子どもたちは異年齢児と関わり合うことが多く、子どもたち同士の気配りや心配りが自然と身についているようです。また、スペースを有効に活用すべく棚やロッカーの移動を適宜行い、食べる・寝るなどの基本的空間を確保する努力をしています。

その反面、限られたスペースの中でも、子どもたちが落ち着く空間は必要です。散歩の行き帰りなどの保育活動の切り替え時や、リズム遊び・うた遊びなどの音楽が伴う活動のときに、子どもたちがざわつくことが無いような音への配慮も必要です。

現在も、活動内容によって年齢ごとに分かれてロールカーテンで仕切ったり、朝に保育士同士で一日の各クラスの動きを把握して配慮しあうなど、様々な工夫をしています。今後は特に、保育場面の切り替え時や保育室内の環境構成に、もう一工夫が望まれます。

評価領域ごとの特記事項

このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 保育理念は「みんなが輝く 社会のために」と前書きし、「陽だまりのような温かい保育園」「地域とともに育つ保育園」「子どもとともに輝いていける保育園」とし、全ての項目が利用者本人を尊重したものとなっています。全職員に保育ガイドが配付され、内容を全職員が理解しています。
- ◇ 個人情報の取り扱いについて入園のしおりに記載し、保護者へ周知しています。また画像使用についても「画像使用承諾書」を提出してもらっています。なお、個人情報に関する記録類は、事務所内の施錠できる書庫に保管しています。
- ◇ 職員は虐待の定義についての研修を受け、理解しています。職員は、登園して来た子どもの視診や観察を丁寧に行っています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 室内の清掃はマニュアルに沿って行い、園長が適宜チェックをしています。また、保育室は南に面し、保育室には十分な陽光が取り入れられ、24時間換気の設備も整っています。
- ◇ 保育室はワンフロアのため、保育士同士で各クラスの1日の動きを把握し配慮はありますが、クラスごとの保育活動における子どもたちの声や音が、他クラスにも聞こえてしまいます。今後は声の大小を使い分けたり、子どもたちの集中力や注目させる場面を効果的に演出するなどの工夫が望まれます。
- ◇ 幼児は、リズム遊び（週1回）や体操教室（月1回）で様々な体験をしており、自由に体を動かすことが大好きな子どもに育っています。造形教室（月2回）ではのびのびと絵を描いたり、製作をしたりしています。0、1歳児も、年長の子どもたちが歌ったり運動したりする様子を見て、自然と体を動かしたり歌を歌ったりしています。
- ◇ トイレトレーニングでは、一人ひとりの排泄のリズムをつかみ個別に対応し、保護者と話し合いながら進めています。また、5歳児は、年明け頃から徐々に午睡無しの日を設けて就学に備えています。
- ◇ 保育室の造りがオープンなため、いつでも異年齢児が混ざり合って過ごしていて、年下の子どもを、年上の子どもが面倒をみるという関係が育っています。
- ◇ 和田町商店街のお祭りやマンションの自治会の草取り、地域の親子ふれあい広場「陽だまり」への参加・協力を通して、近隣との友好的な関係を築いています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、職員会議等で全職員が参加のもと作成・見直しをしています。指導計画は、保育計画に基づいているか、月齢だけでなく子ども一人ひとりの成長や発達状況に則しているか、などを担任と園長が十分に話し合いながら作成しています。
- ◇ 隔週の職員会議や適宜行われるミーティングでは、子ども一人ひとりの発達の状況や日常の様子を話し合います。指導計画は、「子どもの姿」「問題点と今後の課題」「月のねらい」などの項目を複数の職員が話し合いながら作成しています。
- ◇ 苦情や相談の受付責任者並びに解決責任者は園長としています。苦情解決システムは一目で分かるように図解にまとめ玄関に掲示するとともに、保護者に配付し説明しています。また、外部の苦情受付連絡先として、保土ヶ谷区福祉保健センター子ども支援担当の連絡先を入園のしおりに掲載しています。
- ◇ 保護者からの要望や苦情があった場合は、迅速な対応を心がけ、すぐに職員会議で「原因」「対応内容」「再発防止」を検討しています。また、起きた事例は、迅速に系列園全体で情報を共有し、現場の改善に役立っています。
- ◇ 健康管理・衛生管理に関するマニュアルがあります。健康管理についてはマニュアルに沿って一人

ひとりの健康状態を把握しています。衛生管理についてのマニュアルは、法人本部の看護師会議で定期的に見直しを図り、園に持ち帰って職員会議等で全職員に周知しています。

- ◇ 安全管理に関するマニュアルがあります。職員は新人研修や現任研修で学び、内容を理解しています。公園等で子どもを遊ばせる場合には、まず保育士が、危険がないか確認をしてから、子どもたちを遊ばせるようにしています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 主任児童委員が主催する月1回の親子ふれあい広場「陽だまり」に、保育士や園長が毎回協力しています。「陽だまり」に参加している親子との会話や、相談を受ける中から子育て支援ニーズを把握するよう努めています。
- ◇ 園の行事のポスターを、自治会を通して、隣接する和田町商店街等に掲示してもらっています。また、毎週木曜日に育児相談を実施しており、園の外にも掲示しています。
- ◇ ボランティアとして、素話やパネルシアター、絵本の読み聞かせ等をする「お話しの会」の人が毎月1回来ています。職員は、お話しが終わったあとに感想や意見を聞く場を持ち、今後の運営の参考にしています。また、保育園実習が終了した後に、ボランティアとして保育補助に来てくれる人や、行事の時に、写真撮影で協力してくれるボランティアの方もいます。
- ◇ 近隣保育園との交流保育で西谷体育館、星川小学校、ほどがや地区センターなどを利用しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 保育理念・保育目標は明文化し、玄関に掲示するとともに、保育ガイドの配付により周知徹底し、全職員が理解しています。保育ガイドに職員が守るべき法・規範・倫理等を掲載し、入社時の新任研修において、説明しています。
- ◇ 重要な意思決定の理由や目的については、法人本部で定期的に行われる園長会議等で話し合い、全保護者向けにプリントを配付し、理解を求めています。事案ごとに保護者からの意見や要望を取り入れるように努めています。
- ◇ 玄関には経営収支報告書が常備され、誰でも見るできるようになっています。
- ◇ 重要な意思決定にあたっては、保護者懇談会や「運営委員会」(園長、法人本部職員、保護者代表、第三者委員が参加)を定期的に行い、説明を行っています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 法人本部で定期的に行われる新任研修や現任研修では、全職員が保育理念や目標をより深く理解することを目指しています。研修の成果を職場で活かすため、受講した職員が職員会議等の場で研修記録を報告し、情報共有に努めています。
- ◇ 主任・リーダーの育成会議・研修が法人本部で定期的に行われ、スーパーバイズのできる主任クラスの計画的な育成プログラムがあります。
- ◇ 園長面接を年1回行い、「スキルアップシート」を活用しながら、職員の目標設定や反省点など話し合い、職員一人ひとりの経験・能力や習熟度に応じた役割や翌年度の期待水準を確認しています。
- ◇ 職員会議等で、保育内容や業務改善の提案が行われています。園長や指導担当保育士は、職場内のコミュニケーションを大切に、特に経験年数の浅い職員に対しては、日常業務で気づいた些細なことにでも助言できるよう「今日行った主な仕事」「気づいたこと」「反省・感想」「コメント」の項目がある交換ノートを毎日交わしています。
- ◇ 法人本部では年1回の職員満足度調査を行い、意見・要望・満足度を把握しています。
- ◇ 職員会議等で、保育内容や業務改善の提案が積極的に行われています。園長は、保育士との日常的なふれあいを大切に、保育日誌などの記録を読むことにより、保育士の心情や保育内容を把握しています。
- ◇ 実習生受入れマニュアルがあり、それに基づいて実習生には事前オリエンテーションを行い、園の方針や利用者への配慮について説明しています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。





「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念は、「みんなが輝く 社会のために」と前書きし、「陽だまりのような温かい保育園」「地域とともに育つ保育園」「子どもとともに輝いていける保育園」とし、全ての項目が利用者本人を尊重したのものとなっています。全職員に、業務マニュアル「保育ガイド」が配付され、内容を全職員が理解しています。 ・保育課程は、職員会議等で全職員が参加のもと作成・見直しをしています。 ・保護者とは送迎時の会話や連絡ノートで、きめ細かくコミュニケーションをとり、保護者の就労状況や実状を考慮し、保育課程や指導計画に反映するように努めています。 ・指導計画は、保育課程に基づいているか、月齢だけでなく子ども一人ひとりの成長や発達状況に則しているか、などを担任と園長が十分に話し合いながら作成しています。保育士は、指導内容に子どものやりたい気持ちや自由な発想を反映しています。具体的には、午後の遊びでは子どもたちのリクエストに応じて、好きな「お店屋さんごっこ」などを取り入れ、子どもたちの気持ちを尊重しています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前面接は、園長・担任・栄養士で行っています。保護者と子どもとの関係や、子どもの遊びの様子を丁寧に観察・把握するよう努めています。その際、「面接チェック表」を用い、子どもの様子や生育歴の詳細を記録し、保育に反映できるようにしています。 ・新入園児の受け入れ時には、子どもたちが不安にならないように配慮しています。短縮保育（ならし保育）の有無や期間、子どもが心理的によりどころとする物の持ち込みなど、子どもの様子や保護者の就労状況等を十分考慮し、臨機応変に対応しています。 ・月2回の職員会議や、適宜行われるミーティングでは、子ども一人ひとりの発達の状況や日常の様子を話し合います。指導計画は、「子どもの姿」「問題点と今後の課題」「月のねらい」等の項目を複数の職員が参画して話し合いながら作成しています。 ・日々の会話や連絡ノートはもちろんのこと、定期的開催される個人面談・懇談会・保育参加にて、保護者の要望や意見をくみ取り、指導計画に反映することを心がけています。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・保育室は南に面し、十分な陽光が取り入れられ、24時間換気の設定も整っています。
- ・室内の清掃は掃除マニュアルに沿って行い、園長が適宜チェックを行っています。特に、トイレは「掃除チェック表」で、朝・昼・夕にそれぞれチェックを行い、清潔に保つように心がけています。
- ・沐浴設備や温水シャワー設備が整っていて、マニュアルに沿って清掃し、清潔に保たれています。
- ・0、1、2歳児の保育室は、子どもたちの月齢や状況に応じて仕切りを変更し、それぞれ落ち着ける場所を確保しています。また、園内を背の低い棚やロッカーなどを利用して仕切り、食べる・寝るなどの機能別空間の確保に努めています。
- ・保育室はワンフロアのため、活動内容によって、ロールカーテンでスペースを仕切ったり、他クラスで歌が始まったら一緒に歌うようにしたり、保育士同士で各クラスの1日の動きを把握し配慮していますが、クラスごとの保育活動における子どもたちの声や音が、他クラスにも聞こえてしまいます。今後は、子どもたちの集中力や注目させる場面を効果的に演出するなどの工夫が望まれます。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力




- ・0、1、2歳児や、特別な課題のある幼児については、職員会議などで話し合い、全員が情報を共有しながら個別指導計画を作成しています。また、乳児・幼児ともに個別指導計画を作成する段階において、家庭の状況や保護者からの要望を十分に考慮しています。
- ・毎月末に、子どもの発達状況に合わせて、計画の変更・見直しを行っています。園長が、都度赤インクで内容を修正しながら、子どもにとって無理のない指導計画になるように心がけています。
- ・園児一人ひとりの発達状況は、毎月「児童票」に記録し管理しています。児童票の項目は、幼児では「健康・人間関係・環境・言葉・表現」、乳児では「生活(食事・睡眠・排泄)・日常生活活動(あそび・情緒・言葉・健康)」とあり、細やかに記録できるようになっています。
- ・年度末の進級時には、申し送り事項を新旧担任の間で正確に伝達しています。また、担任は子ども一人ひとりの写真付アルバムを作成し、成長過程の記録として卒園時に渡しています。


- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・過去3年間に、障がいのある子どもの受け入れ実績は、ありません。
- ・法人本部では、園長・主任・栄養士・看護師の会議が毎月開催され、配慮を要する子どもへの対応に必要な情報等が、法人全体で共有されていて、特に配慮を要する子どもの受け入れに対して積極的な姿勢があります。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応については、子どものかかりつけ医の意見書を提出してもらい、定期的に医師のアレルギーチェックを実施してもらっています。また、事前に献立の食材をチェックしてもらうなど保護者との連携を密にしています。
- ・代替食や除去食の対応については、マニュアルに沿って専用のトレーや食器を使い、ラップをした上に対象児の名前を記載し、誤食のないように細心の注意を払っています。
- ・保育士は、日本語の理解が難しい保護者に対して、なるべく分かりや

	<p>すい言葉でゆっくり説明し、母国語を交えながら会話したり、プリントはできるだけ母国語に翻訳して渡すなど、丁寧なコミュニケーションを心がけています。また、どうしても意思疎通が困難な場合は、法人本部と相談しながら対応策を検討する仕組みがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人本部で契約している臨床心理士に月1回巡回してもらい、助言・指導を受けています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決マニュアルを備え、2名の第三者委員を交えて解決するしくみがあります。また、法人本部にも苦情受付窓口を用意しています。 ・外部の苦情受付連絡先としては、保土ヶ谷区福祉保健センターサービス課子ども支援担当の連絡先を「入園のしおり」に掲載しています。 ・苦情や相談の受付責任者、並びに解決責任者は園長としています。苦情解決システムは一目で分かるように図解にまとめ、玄関に掲示するとともに、保護者にプリントを配付し、説明しています。 ・保護者懇談会や保育参加などでアンケートを配付したり、玄関に「すまいるBOX」（無記名で入れられる意見箱）を設置するなど、保護者が意見要望を気軽に表明できるよう工夫をしています。自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対しては、日常的な会話で意見を汲み取れるように、話しやすい雰囲気づくりに努めています。 ・保護者からの要望や苦情があった場合は、迅速な対応を心がけ、すぐに職員会議で、原因や対応内容、再発防止策等を検討しています。また、起きた事例は、系列園全体で情報を共有し、現場の改善に役立てています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃや絵本は子どもが取り出しやすい棚に置かれ、子どもたちは自由に出し入れしています。 ・0,1 歳児には、保育士がフェルトで手作りした自動車・野菜・果物や、ペットボトルのマラカスなど、多数の手作りおもちゃを準備しています。 ・登園から朝の会までと、午睡後から降園までは、子どもたちが熱中して遊びこめる自由遊びの時間となっています。 ・子どもの遊びの中から、お店やさんごっこに発展して遊ぶことがあります。保育士は子どもが経験を広げられるように適切に助言しています。 ・散歩や戸外遊びをする場合には、長い階段を上ったり、公園の鉄棒やうんてい等の遊具で遊んだり、広い公園を利用して思いっきりかけっこや鬼ごっこをする等、子どもの運動能力を高めることを意識して取り組んでいます。 ・幼児の自由遊びでは、カレンダー作りをしたり、粘土で「餅つき」や「クッキーを作ったからオープンに入れる」など想像したりしながら遊んでいます。 ・園庭のプランターで野菜栽培をし、収穫してクッキングの時間に食べるという体験をしています。夏にはクワガタの飼育をしました。 ・公園までの行き帰りや公園では、たくさんの人との出会いがあり、あいさつをしたり、話したりしています。 ・幼児は、リズム遊び（週 1 回）や体操教室（月 1 回）で様々な体験をしており、自由に体を動かすことが大好きな子どもに育っています。造形教室（月 2 回）ではのびのびと絵を描いたり、製作をしたりしています。0,1 歳児も、年長の子どもたちが歌ったり運動したりする様子を見て、自然と体を動かしたり歌を歌ったりしています。 ・毎月、季節をテーマにして、子どもたちが描いた絵や折り紙などの作品をみんなで協力して 1 つの作品に仕上げ、保育室の壁に展示しています。 ・子どものけんかでは、年齢の低い子どもの場合は保育士が間に入ってお互いの気持ちを言葉にして伝えたり、年齢が高くなると、子どもたち同士の話し合いで解決するように伝えて見守っています。 ・保育室の造りがオープンなため、いつでも異年齢児が混ざり合って過ごしていて、年上の子どもが年下の子どもの面倒をみるという関係が育っています。 ・午睡後は、年長児が進んで 0,1 歳児の部屋に行き、布団の片付けや着替え等を手伝っています。

- 1 保育内容[生活]



- ・乳児の授乳は、抱っこをして子どもと目を合わせ、話しかけながらゆったりと行っています。
- ・給食時に保育士は、「もぐもぐね」「かみかみしようね」「上手」等の声かけをし、乳児が食べてみようとする気持ちを大切にしています。幼児で嫌いな食べものがある場合には、子どもが自分から食べられるように「この前は少し食べられたね」等と話しかけています。
- ・3・4・5歳児では当番活動として、エプロン・三角巾を着用して各テーブルを拭いたり、配膳などを担当しています。
- ・ひな祭り、子どもの日、七夕、クリスマス等に行事食を提供しています。
- ・食材は、安全性に留意してできるだけ国産のものを近くの肉屋・魚屋・八百屋等から仕入れています。
- ・食器は、強化磁器を使用しています。大きさや容器の形を変え、発達に適した食器を使用しています。
- ・調理室が保育室に隣接しており、栄養士や調理担当者は、子どもたちの喫食状況や残食の様子を見て好き嫌いを把握しています。月に2回同じメニューが出るので、残食が多かったものについては、栄養士と調理担当者ですぐに話し合い、味付け等を改善しています。
- ・毎月、栄養士・保育士・園長が参加して給食会議を開催し、子どもの喫食状況について話し合い、献立や調理に反映させています。
- ・毎月、献立表を作成し、事前に保護者へ配付しています。献立表は、離乳食（初期・中期・後期・完了期）、幼児食、夕補食に分けられ、丁寧に作成しています。
- ・給食便りも毎月発行し、人気のあるメニューのレシピや食中毒対策、食べものの栄養について等を毎回掲載しています。
- ・毎日の給食は、サンプルケースに入れて玄関ホールに展示しています。
- ・保護者懇談会において給食の試食会を行い、食材の説明や献立作成上の注意点などについても説明しています。試食後はアンケートを取り、調理に反映させています。また、保育参加をした保護者にも、子どもと一緒に給食を食べてもらっています。子どもたちの食事の様子や給食の味付け、量等についても知る機会となっています。
- ・午睡時には、窓のカーテンを引き静かな環境を整えています。眠くない子どもには、体を休ませることの大切さを話し、静かに過ごさせています。
- ・乳児の睡眠中は、タイマーを使用して10分毎に身体に触れ、顔色・呼吸・体勢をチェックして記録をとり、乳幼児突然死症候群（SIDS）の防止に努めています。
- ・5歳児は、年明け頃から徐々に午睡無しの日を設けて就学に備えています。
- ・トイレトレーニングでは、一人ひとりの排泄のリズムをつかみ個別に対応し、保護者と話し合いながら進めています。
- ・職員は、人権の研修を受けていて、おもしろい子どもを激しく叱ったり、心が傷つくような言い方をしてはいけないことを理解しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [健康管理]



- ・健康管理に関するマニュアルがあり、マニュアルに沿って一人ひとりの健康状態を把握しています。
- ・園長や保育士は、登園時に「お変わりありませんか」と保護者に声かけをして子どもの体調の把握に努めています。
- ・降園時には、保護者に子どもの一日の様子を伝えるように心がけています。担当がいけない場合には、「保護者伝達表」により情報を共有し、他の職員でも伝えられるようになっていきます。
- ・1歳児から歯ブラシを用いて歯磨き指導を行っており、保育士は仕上げ磨きをしています。5歳児は手鏡を使用しながらの歯磨きを行っています。
- ・入園時に把握した生育歴、既往症、予防接種、感染症、年2回の健康診断、年1回の歯科健診、毎月の身長・体重の測定値などは、子ども一人ひとりのファイルに収めて健康管理をし、施錠できる書庫に保管して日常の保育に生かしています。
- ・健康診断・歯科健診の結果は、当日中に保護者へ書面で知らせています。また毎月測定する身長・体重の結果は、個別のカードに毎回記載して知らせ、保護者が印を押して保育園に戻しています。
- ・嘱託医とは健診結果について相談したり、感染症について教えてもらうなどの連携を取っています。
- ・登園停止基準や感染症への対応方法については、入園のしおりに記載し保護者にも周知しています。
- ・感染症対策のマニュアルがあり、感染症の疑いがある場合には、マニュアルに則って保護者へ連絡しています。また、感染症が発生した場合には、玄関窓口に掲示して速やかに情報提供しています。
- ・感染症に関する最新情報は、区役所や法人本部、嘱託医、系列園から届けられ、またインターネットからも情報を収集して、職員間で周知しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [衛生管理]



- ・衛生管理マニュアルがあります。マニュアルは、法人本部での看護師会議において定期的に見直しを図り、園に持ち帰って職員会議等で全職員に周知しています。
- ・園内はマニュアルに沿って清掃されており、清潔に保たれています。特にトイレは朝昼晩と3回清掃し、清掃チェックシートに記録しています。また、毎週土曜日はおもちゃ類の消毒の日と決めて実行しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [安全管理]



- ・安全管理に関するマニュアルがあります。職員は新人研修や現任研修で学び、内容を理解しています。
- ・公園等で子どもを遊ばせる場合には、まず保育士が、危険がないか確認をしてから、子どもたちを遊ばせるようにしています。
- ・ロッカー等の上に物を置く際は、耐震ジェルや滑り止めシートを使用して安全対策を講じています。また本棚やおもちゃをしまう低い棚は木製の特注品で、転倒しにくい設計になっています。
- ・毎月、火事・地震・不審者侵入などに備えた避難訓練を行っています。
- ・事務所に警察署や消防署等の連絡先を書いたフローチャートを掲示して緊急時に備えています。また、嘱託医や救急病院、各種医療機関の連絡先一覧表があります。保護者の緊急連絡先を記載した緊急連絡票も作成して保管しています。
- ・職員会議等で、ヒヤリハット報告書に記載された内容を話し合ったり、再発防止策を検討したりしています。
- ・玄関はオートロックで常時施錠されています。職員はインターホンで必ず相手を確認してから開錠しています。また警備会社と契約し、警報機・防犯ブザーを設置して不審者等対策としています。散歩等に行く場合には、契約している警備会社の無線機を携帯して出かけています。
- ・地域の不審者情報は、町内会や近隣住民、警察から得られるようになっています。

- 3 人権の尊重





- ・人権については新人研修の折にまず学び、現場で具体的に学習するしくみをとっています。
- ・子どもの発言や気持ちを受け入れ、子どもの自主性を重んじ、寄り添うような保育を心がけています。
- ・子どもの名前を呼び捨てにしたり、せかしたり、強制するような保育をしてはいけないことを、全職員が認識しています。
- ・個人情報の取り扱いに関するマニュアルがあり、全職員に周知しています。実習生は個人情報に関する誓約書を、職場体験の中学生は機密保持誓約書を提出しています。
- ・個人情報の取り扱いについて、入園のしおりに記載し保護者へ周知しています。また画像使用について保護者へ説明し、「画像使用承諾書」を提出してもらっています。
- ・個人情報に関する記録類は、事務所内の施錠できる書庫に保管しています。
- ・職員は虐待の定義についての研修を受け、理解しています。職員は、登園して来た子どもの視診や観察を丁寧に行っています。
- ・法人本部で契約している臨床心理士が、園を毎月1回訪問し、子どもたちの様子について職員と話し合っています。
- ・遊びや行事の役割、持ち物、服装、順番、グループ分け、整列などでは、性別で区別していません。

- 4 保護者との交流・連携






- ・入園前説明会や懇談会、保護者参加の行事の折に、保育の基本方針について説明をしています。懇談会出席者には、分かりやすく書いた文書を配付し、欠席者にも同じものを配付しています。
- ・園の理念や基本方針は、玄関ホールに掲示しています。保育方針は、園のしおりやパンフレットに記載しています。
- ・0～2歳児は、毎日、連絡帳に子どもの様子を記載して保護者と連携を密に取っています。3～5歳児も一人ひとり連絡帳があり、必要に応じて記入し、保護者にも記入してもらって連携を取っています。また、玄関ホールに、その日のクラスごとの一斉活動等の様子を紙に書いて掲示し、保護者へ伝えていきます。
- ・保育参加を年に一度、期間を設定して行っています。その期間内に都合がつかなかった保護者にも、日程を調整して随時行っています。
- ・個別面談は、2月から3月にかけて期間を設定して全員に行っています。都合の悪い場合は、それ以外の日でも保護者の意向に応じて随時行っています。
- ・クラス全体の様子を伝えるクラス懇談会を開催しています。懇談会では、保育内容や保育目的について分かりやすく説明しています。
- ・相談は主として園長が受け付け、記録も整備しています。保護者からの相談と地域の人からの相談に分けてファイリングし、相談後は、継続的にフォローできるように心がけて接しています。
- ・園だより、クラスだより、給食だより等を毎月発行しています。
- ・年間行事予定表は、年度初めに配付し保護者の就労に配慮しています。
- ・自主的な保護者組織はありませんが、立候補制の「運営委員会」があり、子どもの在籍年数が長い保護者2～3名と、長時間保育を利用している保護者の中から1名が参加しています。運営委員会は、法人・園・保護者・第三者委員によって構成され、年1～2回開催されています。

評価領域 地域支援機能



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入して、清掃等には積極的に参加し、子育て支援についての住民の意見や要望を聞くようにしています。マンションの管理人とも情報交換をしています。 ・主任児童委員が主催する月1回の親子ふれあい広場「陽だまり」に、保育士や園長が毎回協力しています。「陽だまり」に参加している親子との会話や、相談を受ける中から子育て支援ニーズを把握するよう努めています。 ・園長は、区幼保小教育連携事業や区園長会に参加して地域の子育て支援ニーズの把握に努め、職員間でも話し合っています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を通して、地域住民に向けた行事等の情報を提供しています。また、毎週木曜日に育児相談を実施しており、園の外にも掲示しています。 ・「夕涼み会」や「運動会」などの行事のポスターを、自治会を通して、隣接する和田町商店街等にも掲示してもらっています。 ・関係機関として、区役所担当部署、民生委員・児童委員、主任児童委員等とは、日常的に連携しています。また、行政、医療、療育機関等の情報をリスト化し、職員に周知しています。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の行事のポスターを自治会の掲示板に掲示してもらい、地域の人を招待しています。クリスマス会には、保育園が入っているマンションの住民も参加しました。 ・マンションの自治会が行う年2回の清掃に参加して、住民との交流を深めています。 ・区幼保小教育連携事業に参加したり、近隣の星川小学校を訪問したり、中学生の職場体験を引き受けたりと、学校教育との連携を図っています。 ・親子ふれあい広場「陽だまり」に、園の絵本やおもちゃ等を貸し出しています。 ・和田町駅前商店街のお祭りやマンションの草取りに参加するなど、近隣との友好的な関係を築いています。 ・近隣保育園との交流保育等で、西谷体育館、星川小学校、ほどがや地区センターなどを利用しています。また、クッキング保育で使用する食材は、園外活動として近所の八百屋へ買い物に行き、交流を楽しんでいます。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットや広報紙、ホームページ等により地域や関係機関に情報を提供しています。また横浜市こども青少年局や保土ヶ谷区のホームページにも園の情報を提供しています。 ・サービス内容の詳細、料金、職員体制などについての情報を提供しています。 ・利用希望者には見学ができることを伝えるとともに、保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に応じています。また突然の来訪にもできるだけ応じています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れマニュアルがあり、それに基づいて園の方針や利用者への配慮について職員・ボランティアに説明しています。 ・受け入れの担当者は園長で、受け入れ時の記録も整備されています。 ・近隣の中学生の職場体験を受け入れています。中学生からは感想文の提出をもらい、次の受け入れに活かしています。 ・ボランティアとして、素話やパネルシアター、絵本の読み聞かせ等をする「お話しの会」の人が毎月1回来ています。年間計画もあり、年齢に応じた内容のものを提供してくれています。職員は、お話しが終わったあとに感想や意見を聞く場を持ち、今後の運営の参考にしています。 ・保育園実習が終了した後に、ボランティアとして保育補助に来てくれる人がいます。また、行事の時に、写真撮影で協力してくれるボランティアの方もいます。 ・実習生受け入れマニュアルがあり、それに基づいて実習生には事前オリエンテーションを行い、園の方針や利用者への配慮について説明しています。

- ・実習生受け入れ担当者は園長で、受け入れ時の記録も整備されています。一人ひとりの実習目的に応じてプログラムの工夫をしています。実習期間中は毎日クラス担任と振り返りを行い、実習最終日にはクラス担任、園長、実習生とで反省会を行っています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部で定期的開催される新任研修や現任研修、スキルアップ研修では、全職員が保育理念や目標をより深く理解することを目指しています。 ・園長面接を年1回行い、各職員の目標・課題・反省点などを確認しています。面接は職員のスキルやモチベーションの向上を目的として行われ、各職員の年度目標の達成度に対する評価や次年度の目標設定について、丁寧な話し合いが行われています。 ・園長が研修担当として、職員一人ひとりの研修ニーズにも配慮した上で研修計画を立てています。また、毎年、研修の成果を振り返り、次年度の研修内容の検討・見直しを行っています。 ・内部研修は定期的実施し、常勤・非常勤とも職員が積極的かつ主体的に参画しています。園長は勤務シフトの調整を適宜行いながら、希望者が全員参加できるように配慮しています。 ・横浜市こども青少年局や白峰学園保育センターのほか、専門機関の主催する外部研修等にも、積極的に参加しています。研修の成果を職場で活かすため、受講した職員が職員会議等の場で研修記録を報告し、情報共有に努めています。園内で実践できるものがあれば、すぐに取り入れ、対応しています。 ・常勤・非常勤問わず、基本方針から日々の業務内容や心構えまでが詳細に記載されているマニュアル「保育ガイド」を配付しています。また、非常勤職員に対しても常勤職員と同様に資質向上が図られています。基本理念や保育理念・方針・行動規範などの理解を深めるため、法人本部で入社時新任研修を行うほか、パート研修等を開催しています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で、保育内容や保育技術についての確認、さらに当月の振り返りや反省、翌月のねらいなどを確認しあい、随時、園長が助言指導を行っています。 ・園内研修は、適宜必要に応じて法人本部や外部からの講師を招き、専門的な指導を受け、日々の保育に役立てています。また、月1回の外部の臨床心理士の巡回相談や、園長経験のある法人本部職員から専門的な助言指導を得るなど、保育技術の評価・指導を受ける仕組みがあります。 ・法人全体で系列園の良い事例を共有することにより、一層のサービス向上を目的とした勉強の場にもなっています。


- 3 職員のモチベーション維持



- ・園長面接を年1回行い、「スキルアップシート」を活用しながら、職員の目標設定や反省点など十分な話し合いを行い、職員一人ひとりの経験・能力や習熟度に応じた役割や、翌年度の期待水準を確認しています。
- ・職員会議等で、保育内容や業務改善の提案は積極的に行われています。また、園長や指導担当保育士は、職場内のコミュニケーションを大切にし、職場の雰囲気をもっと良くすることを目指しています。具体的には、保育日誌等の記録を丁寧に読み、日常的なふれあいを大切にする中から、保育士の心情や保育内容を把握しています。特に経験年数の浅い職員に対しては、日常業務について、「今日行った主な仕事」「気づいたこと」「反省・感想」「コメント」の項目がある交換ノートを毎日交わし、指導担当保育士と園長が細やかに助言をしています。
- ・法人では年1回の職員満足度調査を行い、意見・要望・満足度を把握しています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入社時の新任研修において、職員が守るべき法・規範・倫理等を説明しています。また、全職員に配付している業務マニュアル「保育ガイド」の中には、保育士の責務と倫理・子どもの人権を守るために・差別用語は使わない・望ましい保育士としての資質や態度・身だしなみ等の項目を、詳細にルール化しています。 ・事業に関わりある他施設での不正や不適切な事件・事柄については、法人本部で情報を収集した後、系列園に報告し、全職員が情報を共有しています。 ・法人本部での園長会議において、法人の経営・事業運営に関する情報が報告され、各園長の責任において職員に周知徹底しています。 ・玄関には経営収支報告書が常備され、誰でも見ることができるようになっています。 ・環境配慮の考え方や取り組みが、事業計画の中の「環境問題の取り組み」に明文化されていて、日常保育の中でも職員一人ひとりが意識しながら取り組んでいます。廃材の活用や、電気をこまめに消灯する、エアコンの温度調整、蛇口の水圧調整、1/2に切ったペーパータオルの使用など、省エネルギーに向けた取り組みを行っています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念・保育目標は明文化し、玄関に掲示するとともに、全職員に「保育ガイド」を配付して周知徹底し、理解を図っています。 ・重要な意思決定にあたっては、保護者懇談会や「運営委員会」（園長、法人本部職員、保護者代表、第三者委員が参加）を定期的開催し、説明を行っています。また、運動会等の行事に対しても、幅広くかつ継続的に意見交換を行っています。 ・重要な意思決定の理由や目的については、法人本部で定期的開催される園長会議等で話し合い、全保護者向けにプリントを配付し、理解を求めています。事案ごとに保護者からの意見や要望を取り入れるよ

	<p>うに努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任・リーダーの育成会議・研修が法人本部で定期的に行われ、スーパーバイズのできる主任クラスの計画的な育成プログラムがあります。 ・主任の役割基準を明文化しています。なお、主任がいない当園では、主任業務を園長が兼務しています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、区園長会や独自のネットワークなどにより、様々な情報の収集に努めています。また、業界動向・他社動向の情報は法人本部で収集し、得られた情報は、短期的・長期的な分析に役立てています。 ・法人本部では系列園の要望等に迅速な対応を行うため、経営陣と直接話し合いができる「実務者連絡会」を月1回開催し、早期の改善に努めるとともに、次世代育成の場としても役立っています。また、法人本部で行う「担当者会議」において事業運営に影響のある情報や業務改善などの重点改善事項を定期的に話し合い、園長会議を通して全職員へ報告しています。 ・法人本部で、中長期的な事業計画を策定しています。中期達成目標を掲げ、市場の現況や行政の動向等を分析・協議し、計画策定に役立てています。 ・法人の事業運営については、提携企業やコンサルティング会社等の外部機関による専門家から、意見や助言を取り入れるように努めています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2009年12月7日～12月21日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 96.4%（28枚配付、27枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...4人、1歳児クラス...3人、2歳児クラス...4人、3歳児クラス...6人、
4歳児クラス...4人、5歳児クラス...6人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。
文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

設問ごとの特徴

【問1】保育園の基本理念や基本方針について

基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」という人の合計は59%、「どちらともいえない」が19%、「あまり知らない」「まったく知らない」という人の合計が22%です。

「よく知っている」「まあ知っている」と答えた人の中で、保育目標や保育方針に「賛同できる」と答えた人は、94%いました。

自由記入欄には、“理念や方針に基づいた保育をしてもらっていると感じている” “第2の我が家に賛同できる” という声がありました。

【問2】入園時の状況について

「入園時の面接などでお子さんの様子や生育歴などを聞く対応」「費用やきまりに関する説明」については、90%以上の満足度になっています。また、「入園前の見学や説明など園からの情報提供」「保育園での1日の過ごし方についての説明」については、80%以上の満足度です。

【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」については100%の満足度です。

「年間の保育や行事について保護者の要望が活かされているか」については、15%の人がその他と答えています。自由記入欄には“分からない” “聞かれなかった” という声が見られました。

【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」の項目で、「クラスの活動や遊び」については100%の満足度です。また、「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取組み」「子どもが戸外遊びを十分しているか」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動について」では、90%以上の満足度です。

意見欄には、“年齢の異なる子どもとたくさん遊ぶ機会があり、良い影響を与えていると思う” “造形で工夫したものを作ってくる” “ダンス体操を家でも見せてくれ、楽しんでいることが分かる” などの声があります。

「生活」の項目で、「お子さんが給食を楽しんでいるか」「お子さんの体調への気配り」については100%の満足度です。また、「給食の献立内容」「基本的生活習慣の自立に向けての取組み」については96%の満足度です。

「オムツはずしを家庭と協力して行っているか」については、19%の人がその他と答え、“分からない” “オムツはずしが終わってから入園した” という声がありました。

「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」については、「どちらかという不満」と答えた人が22%でした。しかし、意見欄には“細部にわたり報告があり安心” “小さなケガでも連絡をただけて安心” など肯定の意見が多く見られ、中には“連絡帳に記載してくれるといいのだが” という意見もありました。

【問5】快適さや安全対策などについて

「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」については96%の満足度です。また、「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」については、85%以上の満足度となっています。「施設設備」については81%の満足度です。

意見欄に、“狭いのが難点だが、室内はいつも清潔” “園庭は小さく園内も狭いが特に問題ではない” “駅前なので仕方が無いと思いつつ、やはり狭い” “もう少し園庭が広ければいいのになあ”などの意見がありました。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「園の行事の開催日や時間帯への配慮」については100%の満足度です。また、「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」については96%の満足度です。「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」「園だよりや掲示による園の様子や行事に関する情報の提供」「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報の提供」「保護者からの相談事への対応」については、いずれも90%の満足度となっています。

意見欄には、“丁寧に話を聞いてくれる” “急な残業でも快く引き受けてくれる” “相談事にはいつも親身になって対応してくれる” という声が多数見られました。中には、“保育参加をしたかった、保護者全員が保育の様子を見ることができるよう形にして欲しい” という声もありました。

【問7】職員の対応について

「あなたのお子さんが大切にされているか」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」については100%の満足度です。

意見欄には、“子どもの状態に合わせて対応していただき満足している” “子どもにも親にも十分な配慮がある” “ここに通わせてよかった、子どもも保育園大好きと言っている” など、感謝の言葉が多数見られます。

「アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮」については、その他が37%、無回答が4%あります。意見欄には“よく分からない” という声が多数あり、関心の薄さが伺われます。

【問8】保育園を総合的に評価すると

総合満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて100%となっています。

【問9】園への要望など

“いつも温かい保育をしていただきありがとうございます” “子ども同士が皆兄弟のように互いのことを大事に思っていて良いと思う” “とても満足しています” “子どもだけでなく親も気にかけて下さる” “子どもも親も安心して通えています” という感謝の声が多数あります。

他に、“保護者同士の交流をしたい” “メールで連絡できるようにして欲しい” という声もありました。

まとめ

- ・満足度が100%という項目がいくつもあります。特に「活動や遊びに満足しているか」「給食を楽しんでいるか」「体調への気配り」「大切にされているか」「保育園生活を楽しんでいるか」という項目については100%の満足度です。意見欄には園の対応について感謝の言葉が多数あります。子どもだけでなく保護者に対しても温かく優しく接してもらえて満足している様子が分かります。
- ・話しやすい雰囲気があり、いつでも相談にのってもらえるという安心感が、保護者の満足度の高さに表れているようです。
- ・保育室や園庭の狭さについては、不満はあるものの保護者としては入園前から分かっていることであり、それについては納得して入園させたので、との声もあり、満足度は低くはありません。しかし、もっと広ければいいのだけれど...という気持ちも見え隠れしています。できるだけ散歩に出かけて自然に触れさせたり、健康作りを心がけたりしていることで、保護者の満足度も高くなっているようです。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

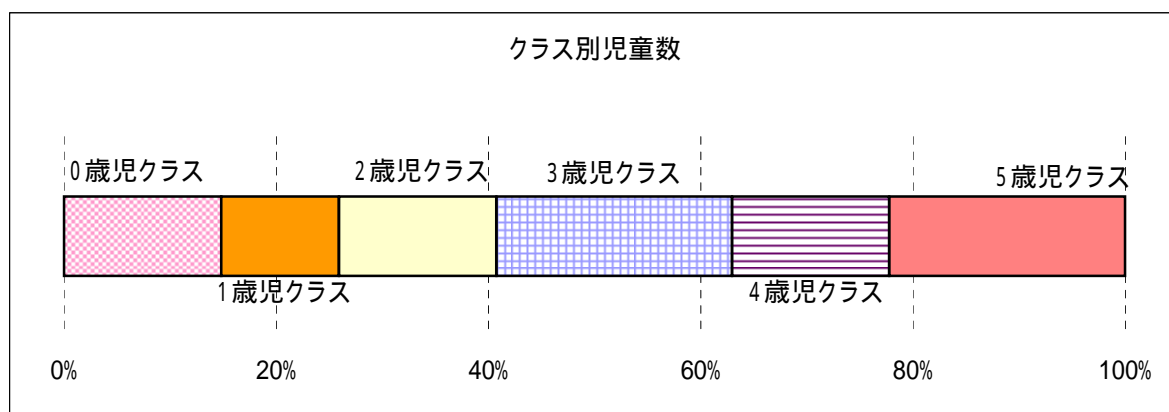
実施期間： 2009年 12月7日～21日

回収率： 96.4% （回収27枚 / 配布28枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
27	4	3	4	6	4	6	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



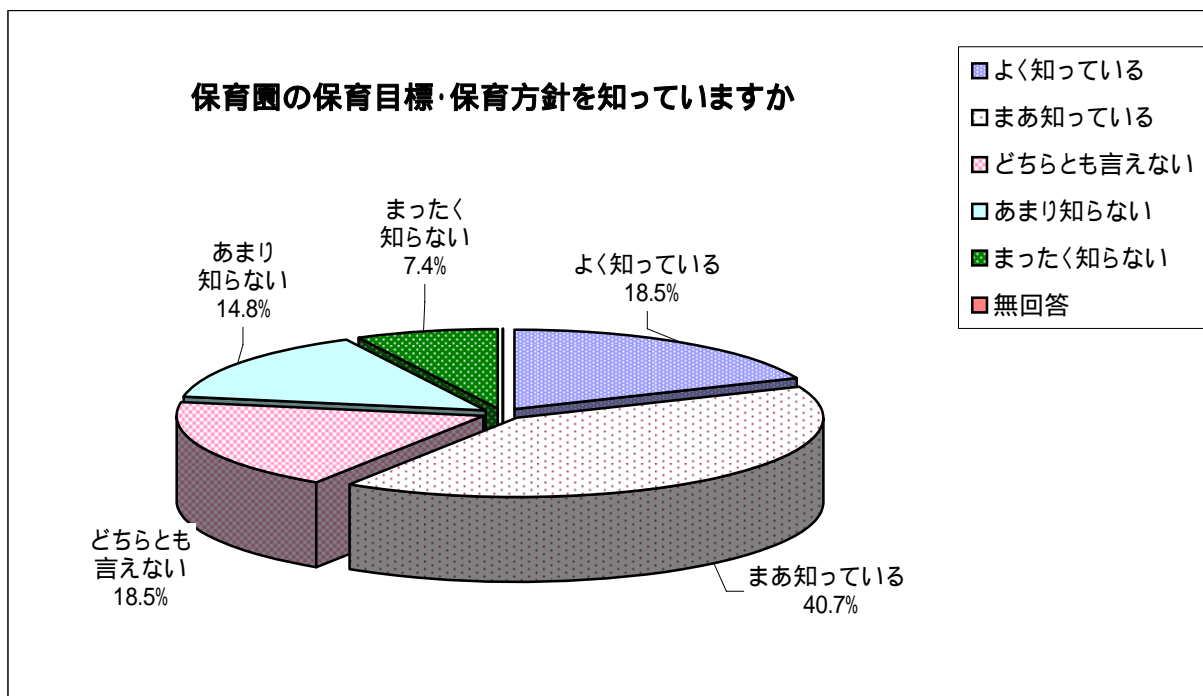
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	18.5	40.7	18.5	14.8	7.4	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

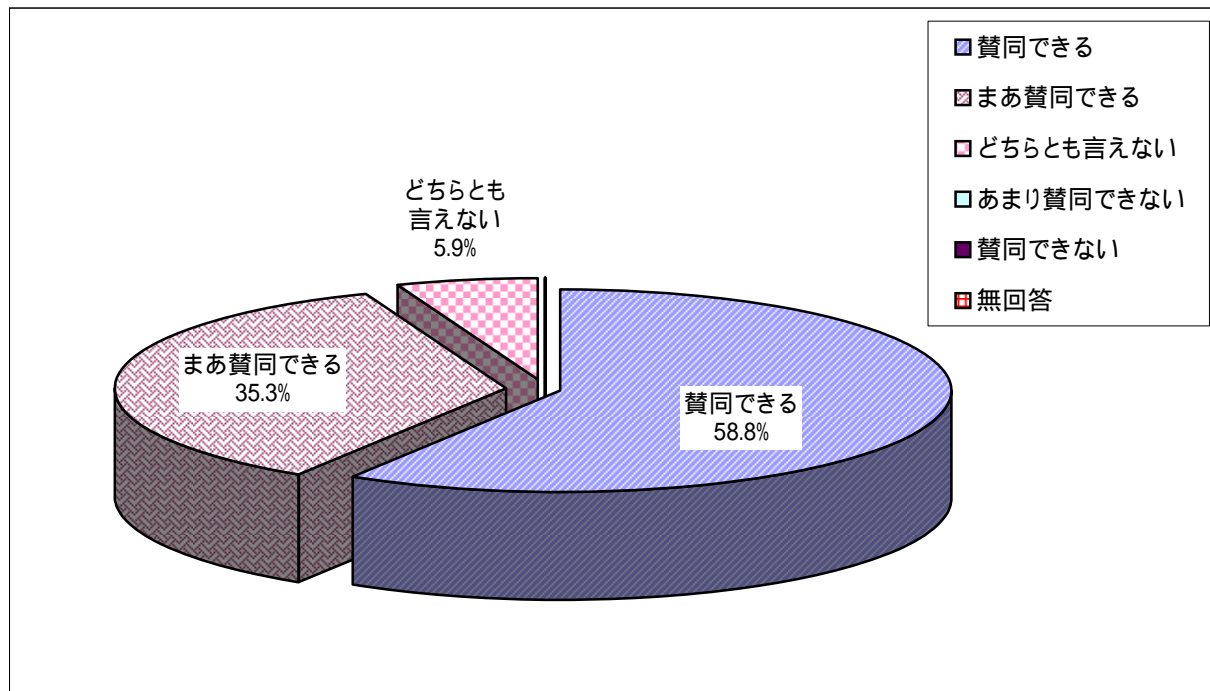


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	58.8	35.3	5.9	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

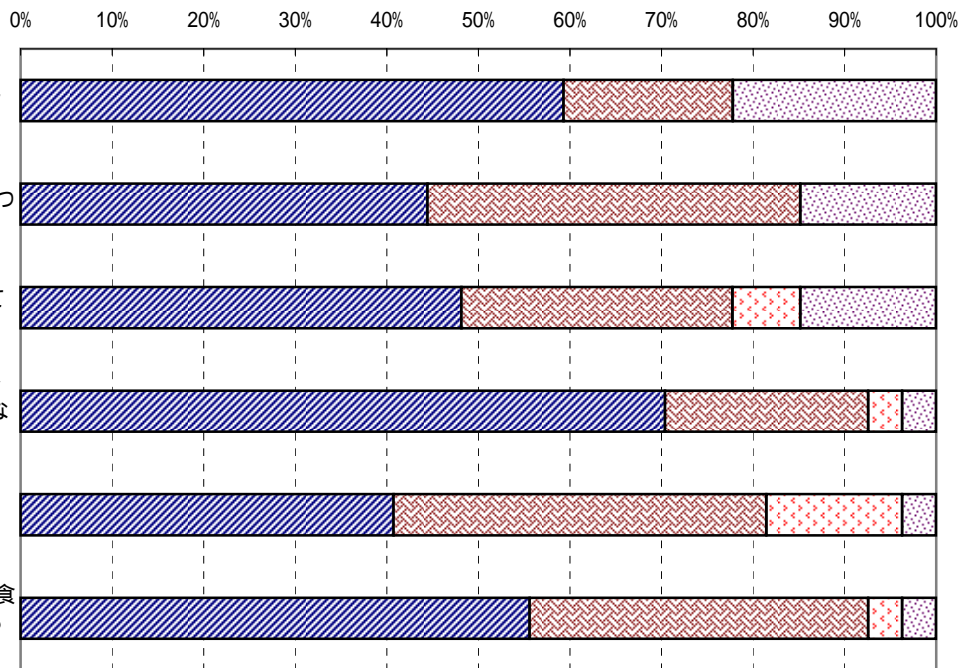
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	59.3	18.5	0.0	0.0	22.2	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	44.4	40.7	0.0	0.0	14.8	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	48.1	29.6	7.4	0.0	14.8	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	70.4	22.2	3.7	0.0	3.7	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	40.7	40.7	14.8	0.0	3.7	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	55.6	37.0	3.7	0.0	3.7	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



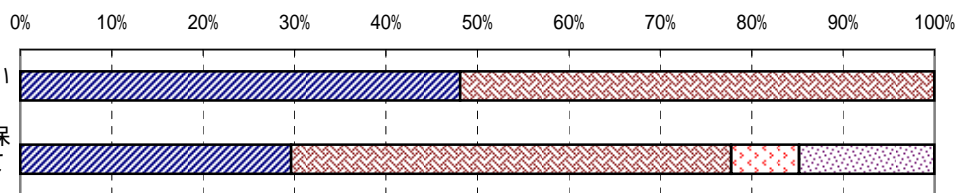
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	48.1	51.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	29.6	48.1	7.4	0.0	14.8	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



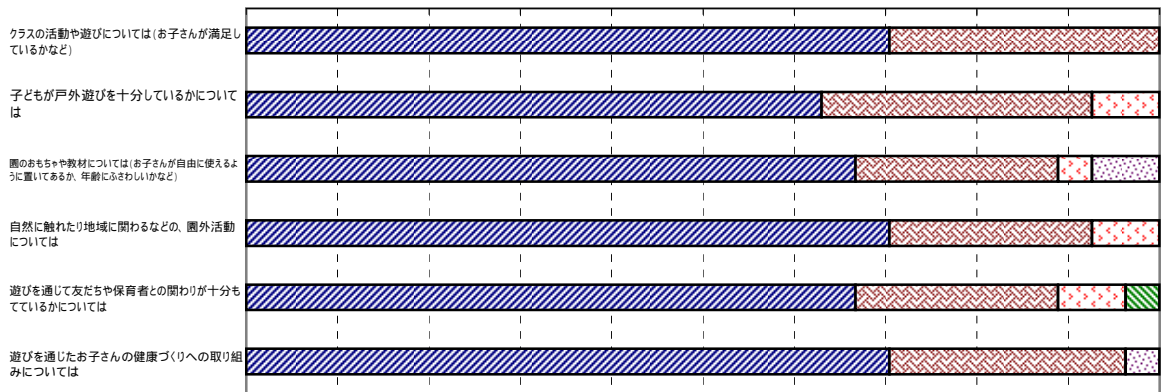
問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	70.4	29.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	63.0	29.6	7.4	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	66.7	22.2	3.7	0.0	7.4	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	70.4	22.2	7.4	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	66.7	22.2	7.4	0.0	0.0	3.7	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

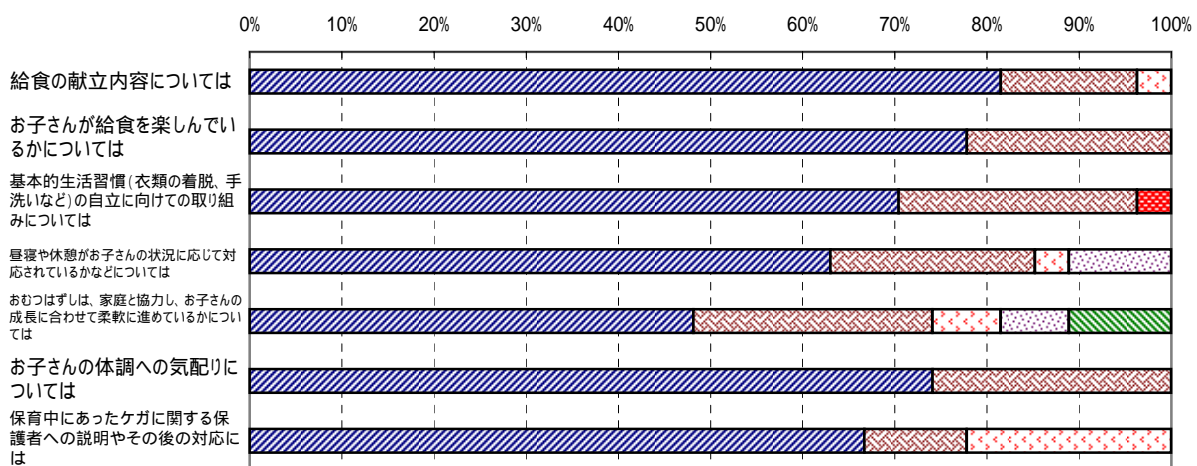


(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	81.5	14.8	3.7	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	70.4	25.9	0.0	3.7	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	63.0	22.2	3.7	0.0	11.1	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	48.1	25.9	7.4	0.0	7.4	11.1	100
お子さんの体調への気配りについては	74.1	25.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



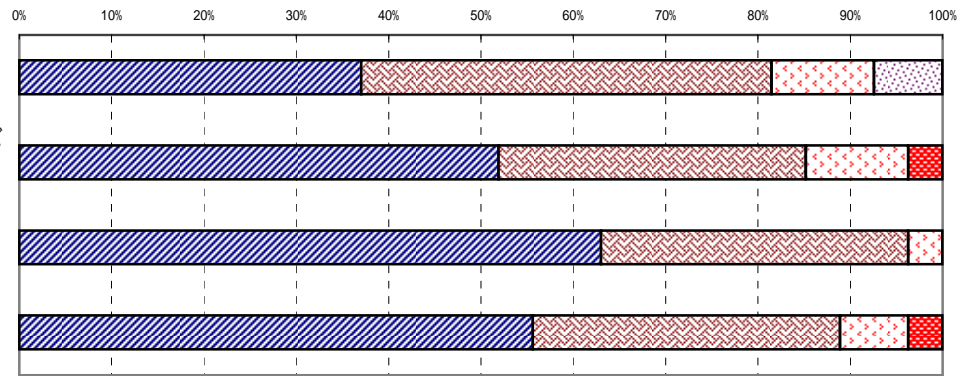
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	37.0	44.4	11.1	0.0	7.4	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	51.9	33.3	11.1	3.7	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	63.0	33.3	3.7	0.0	0.0	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	55.6	33.3	7.4	3.7	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



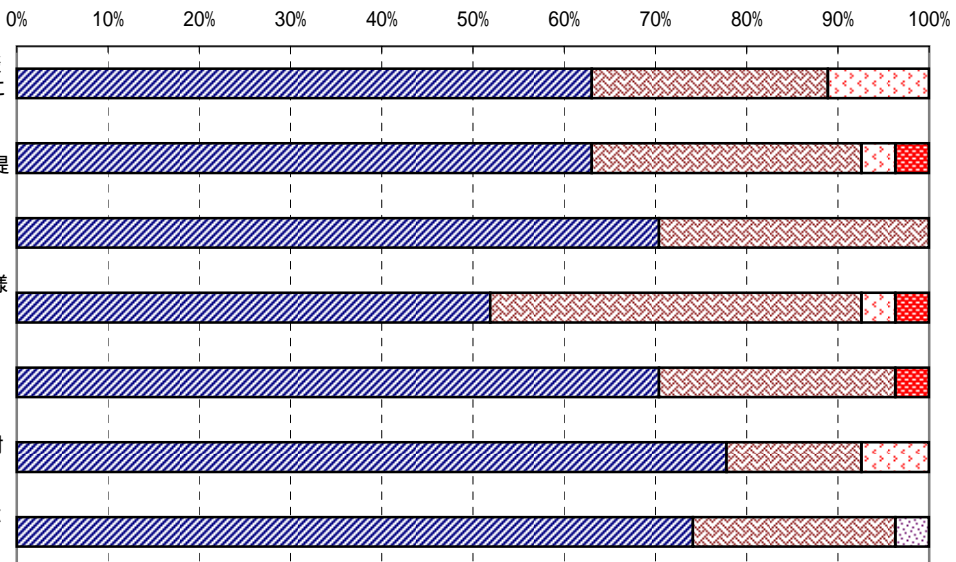
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	63.0	25.9	11.1	0.0	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	63.0	29.6	3.7	3.7	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	70.4	29.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	51.9	40.7	3.7	3.7	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	70.4	25.9	0.0	3.7	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	77.8	14.8	7.4	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	74.1	22.2	0.0	0.0	3.7	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



問7 職員の対応について

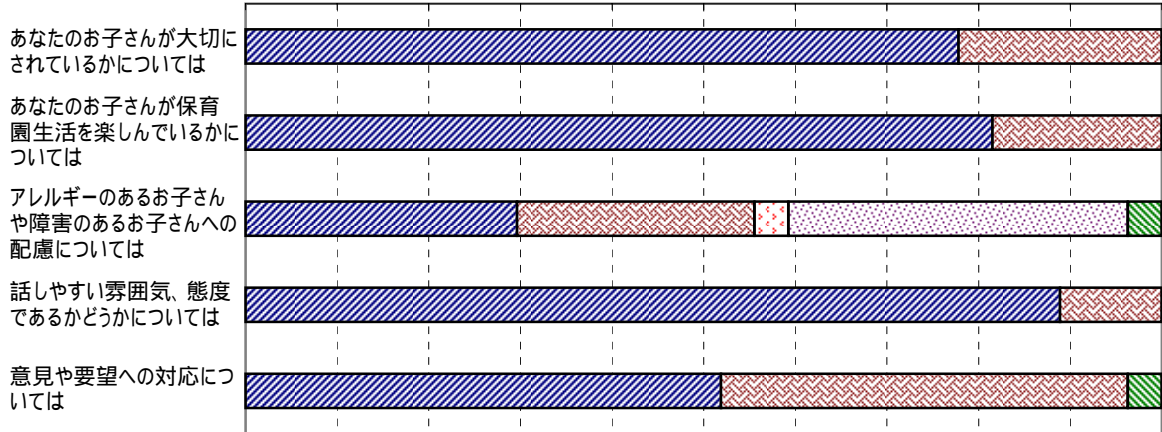
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	81.5	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	29.6	25.9	3.7	0.0	37.0	3.7	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	51.9	44.4	0.0	0.0	0.0	3.7	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

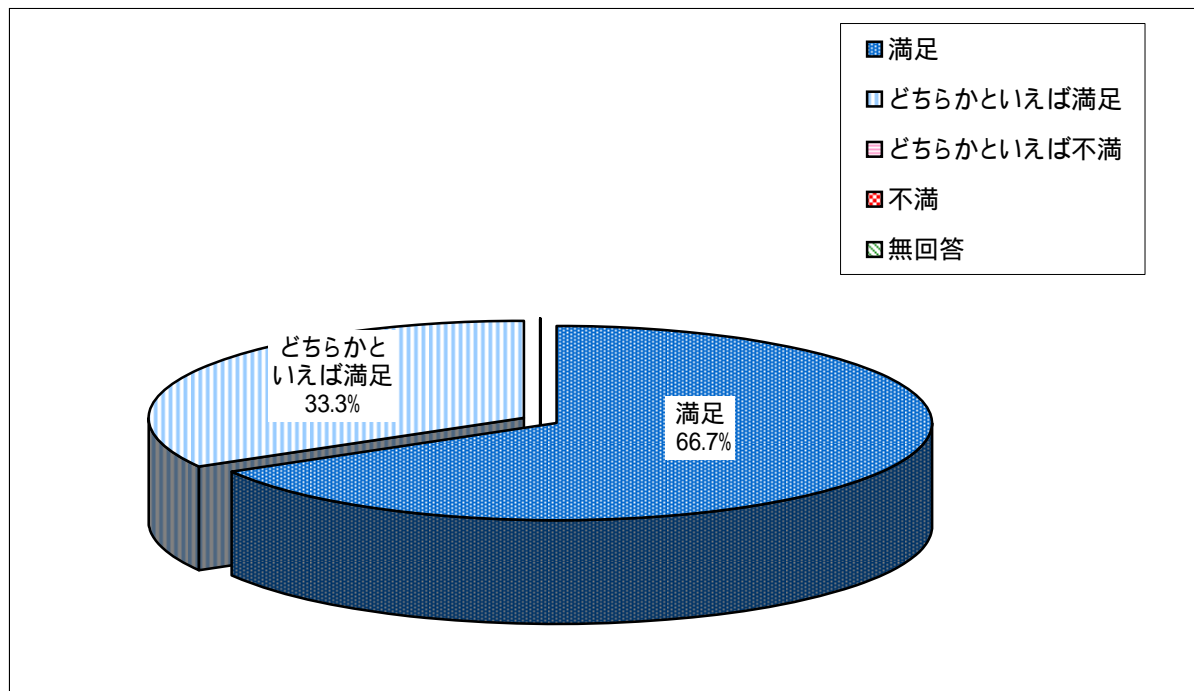
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 2月24日（水）9：00～17：30 2月25日（木）8：20～17：20

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0・1歳児クラス（0歳児：だいち、1歳児：そよかぜ）

にぎやかなお兄さんお姉さんに囲まれています、自分たちの世界もしっかり持っているクラスです。

絵本が大好きで、自由な時間があれば本棚から絵本を取り出して見えています。保育士から絵本を読んでもらう時も集中して聞いています。時々、隣のクラスの音が聞こえてきてそちらに気を取られることもありますが、自分のクラスから出て行くようなことはありません。朝の会を隣のクラスがしているときに歌が聞こえてきて、一緒になって歌ったり、音に合わせて身体を揺らしていることもあります。

散歩は、歩いていく子どもと、箱型バギーに乗っていく子どもがいます。保育士は歩いていく子どもと手を繋ぎ、ゆっくり歩いていきます。行きに歩いた子どもは、帰りはバギーに乗りますが、それでも歩きたいと主張する子どもがいて、その場合は途中で交替していました。近くの公園に着くと、保育士が危険が無いかどうかの確認をしてからみんなで砂場で遊びます。保育士が園から持参した砂場遊びのセットを広げると、皆それぞれに好きな道具を持って遊び始めました。砂のプリン作りに挑戦したり、散歩の途中で見たブルドーザーの動きを砂場で再現する子どももいました。皆、思い思いに砂場遊びを楽しみました。

給食は、エプロンをしてスプーンかフォークを持って食べ始めますが、手で食べる子もいます。保育士の「もぐもぐしようね」「上手」などの声かけを聞きながら黙々と食べています。食事が済むと歯を磨いてもらい、寝巻に着替えてお昼寝です。保育士にトントンしてもらって、いつの間にかぐっすり寝ています。

おやつの前や散歩に出かける前にはオムツを替えてもらいます。他から見えないように衝立を立て、オムツ替えシートの上で、オムツを替えてもらいます。

最近、途中入園してきた0歳児は、起きている時も寝ている時も、必ずそばに担当の保育士や園長がいるので安心して過ごしています。授乳は保育士に抱っこされてゆったりとした雰囲気の中で行われています。同じクラスの中でも月齢が高い子どもが、そっと近寄りいかにも“可愛い”というしぐさで触ってみたりします。0歳児の仲間からも可愛がられる存在です。

2～5歳児クラス（2歳児：ふたば、3歳児：うみ、4歳児：そら、5歳児：たいよう）

園内は低い柵等で仕切られたオープンスペースになっていて、2～5歳児は、各年齢とも、「自分たちの場所」はありますが、多くの時間を普段から一緒に行動しています。

登園してすぐの自由遊びの時間は色々なおもちゃで遊びます。電車で遊ぶ子ども、レゴで遊ぶ子ども、ままごとをしている子ども、絵を描いている子どもなど、どの子ども夢中になって遊んでいます。朝の自由遊びのときに1歳児が5歳児のひざの上に乗って抱っこされながら一緒に電車遊びをしていました。

時々おもちゃのことで小競り合いがあります。保育士に話を聞いてもらい、保育士から「自分達でも話し合うように」と言われて意見を述べあっています。また、嫌なことはイヤとはっきり言葉で言える子どもに育っています。

天気の良いときは散歩に出かけます。この日は、年長児と年少児が手を繋いで、遠くの公園まで散歩に行きました。横断歩道では安全を確認して渡ります。保育士は、公園に着くと危険物が無いかどうか確認しま

す。公園には棒切れや壊れたプラスチックの入れ物、ゴミなどが落ちていてそれらを拾います。安全確認が済むと当番の子どもが前に出て、「公園遊びのお約束」をみんなと一緒に言います。「道路に出ません」「先生が見えるところで遊びます」「トイレに行きたい時は先生に言います」「今手を繋いでいるお友達と帰ります」などです。それが済むと子どもたちは好きな遊具の所へ一目散に駆けていきます。鬼ごっこでは、保育士も一緒に駆け回り、2歳児が5歳児に負けないようにと夢中で走ったり、どの子も一生懸命に走っていました。アスレチックやターザンごっこも人気の遊具です。何度も繰り返して挑戦していました。遊具のそばには保育士が必ず付いていて、危険が無いように見守っています。一般の親子連れが来て一緒に遊びました。

給食の時間、2歳児は自分たちの部屋で食べました。スプーンやお箸を使っておいしそうに食べています。3~5歳児の当番3人は、前に出て保育士から乾いた台ふきんをもらい、手洗場で濡らしてしっかりと絞ります。別の保育士が手洗場において、しっかり絞れたかどうか確認しています。当番はテーブルを拭き配膳の手伝いをします。3歳児、4歳児、5歳児はそれぞれのテーブルについて、準備ができたところから、テーブルごとに「いただきます」をして食べ始めます。話をしながらも一生懸命に食べています。中には「カブ嫌いなんだ」と言いながらも、きちんと食べている子どもがいました。残食もほとんど無く、どの子もおいしそうに食べていました。

5歳児は、年下の子どもたちが午睡から目を覚ますと布団の片付けや、着替えを進んで手伝っています。

まとめ

自由遊びの時間には色々な室内遊びに熱中している子どもたちです。中には気に入らないことがあると怒ったり泣いたりする子どももいましたが、保育士から話を聞いてもらい、しばらくすると泣き止んで遊びに戻っていました。保育室の作りが開放的なので隣のクラスの歌がよく聞こえます。

天気が良いと戸外へ出て、散歩に行ったり園庭で過ごしたりします。散歩の行き先としては近い所から遠いところまで各種公園に恵まれています。公園に着くと保育士は安全確認を必ず実行し、終わるまで子どもたちはじっと待っています。広々とした公園では鬼ごっこやかけっこを、各年齢入り混じって走り回ります。走っていない子どもは、他の遊具で遊んでいます。良く身体を動かしてチャレンジしながら遊んでいます。また、どの子どもも歩くのが大好きのように本当に良く歩きます。

定員30名の、ひとつの小さな家族のような家庭的な雰囲気の中で、年上の子どもは年下の子どもを思いやる心を育み、また、年下の子どもたちは、年上の子どもたちに憧れて見習いながら過ごしています。

事業者コメント

開園 3 年目となる 21 年度、第三者評価を受審致しました。保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートへのご協力、また実地訪問調査へのご理解を頂きまして、大変感謝しております。アンケートの結果を受けて全職員がとても励みとなり、これからもよりよい保育を目指し職員一同力を合わせていこう、という思いを更に強く致しました。ありがとうございました。

第三者評価を受審し、一つひとつを丁寧に確認していく中で、より工夫していく点、積極的に取り組むべき点、継続していききたい点等様々なことが見えてきました。そして、保育園の持つ社会的責任を認識し、保育士の専門性を高めることがいかに大切で必要であるか、ということを確認し合える機会となりました。

保育の道にゴールはなく、常に学び続けることが子ども達の最善の利益を保障し、ご家庭・地域社会から安心で必要とされる場となることを、常に念頭に置いて歩み続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、評価機関市民セクターよこはまの皆様には、細やかなアドバイスを頂き、今後の保育園の進む方向を示唆して頂いたことに心より感謝申し上げます。

にじいろ保育園サクセス和田町
園長 小川 みどり

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
